

令和6年度学校評価結果報告					04	下高井農林高等学校
評価項目		項	自己評価	学校関係者評価	評価点	次年度に向けた改善策
進路指導	計画的な進路指導とキャリア教育の充実	1	今年度のキャリアウィークでは、2学年は春と秋の合計5日間企業研修を行った。1学年は秋の3日間農家研修を行った。これらの研修を通して企業・農家で働くことの達成感や大切さを学ぶことができた。また、1～3学年の各学年でガイダンス等に参加したり、校内で説明会を実施したりして、進路実現に向けて自ら考える機会を持つことができた。	・キャリアウィークによって生徒自らの進路や社会人として必要なスキルを考えることができてよかったと思う。 ・毎年多くの生徒が希望した進路に進めていると思う。 ・企業研修・農家研修は大変意義がある。研修先公募等により選択肢を増やしたらどうか。	4.7	キャリアウィークでの企業研修・農家研修について、生徒の進路希望に沿った有意義な研修となるよう、生徒・担任と情報交換を密にし、研修先の開拓にさらに努めたい。
	進路相談の充実	2	生徒との面談を行い、生徒自身の希望にあう企業や学校をともに考え、希望の実現に向けて保護者とも情報交換してきた。就職希望者についてはICTを活用し、求人票をデジタル化し保護者も見ることができるようにした。今後は、進学希望者についてもICTを使った情報公開ができるように方法を模索したい。	・進路未定が15.6%とあり残念 ・ほとんどの生徒が一次で内定を頂くことができてよかった。 ・ICT導入も継続してお願いします。 ・保護者の意見と生徒の主体性のバランスを上手にとってほしい。	4.2	次年度は未定者が減るよう、外部機関とさらに連携し、生徒の希望を主としつつ保護者の思いに寄り添った進路実現ができるよう努める。
授業展開	個に即した丁寧な授業指導	1	「主体的・対話的で深い学び」の充実に向けて、各教科でICTの活用を推進し、教員対象のICT研修も行った。年2回の授業アンケート実施、研究授業や校内授業参観週間を通して、生徒の興味・関心を高める授業改善を目指した。	・授業アンケートからすると、丁寧な授業が行われていると思う。 ・授業参観では生徒たちが意欲的に取り組んでいる姿が印象的でよかった。 ・今後はICTの活用などの分野も必須になると思います。 ・常に最新の設備・環境を整えられるよう、関係教育機関への働きかけをお願いします。	4.5	授業実践における効果的なICTの活用法について、引き続き校内外での情報共有や研修等を実施したい。また、多様な学習ニーズに対応した柔軟で質の高い学びの実現に向けて、ICT環境の整備を進め、よりよい学校づくりを目指したい。
	専門学習・資格取得の充実	2	専門学習の充実が、地域連携や課題研究の成果として現れ、地域からも高い評価をいただいた。資格取得では計画的な展開ができ、多くの生徒が積極的に取得をしながら、将来を見据える糧となった。	・農林の特色を生かした免許取得はこれからもやってほしい。 ・資格はいくつあっても困らない。在校中に多くの資格を取得できるようにお願いします。 ・進路の幅を狭めることのないように指導をお願いします。 ・時代のニーズに合わせた新しい資格を取り入れることもご検討ください。	4.8	地域行事やイベントへの積極的な参加から、地域の方々との情報交換や意見交換により、地域の課題やニーズを把握し、更なる専門学習の充実に努めたい。 資格取得は、今後も多くの生徒が積極的に取得から将来を見据える糧となるよう、取り組みを継続する。
生徒指導	基本的生活習慣等の確立	1	基本的生活習慣・授業規律の確立、問題行動の予防、交通安全意識の向上を柱に指導を行っている。ほとんどの生徒が挨拶から始まり、ルールを守り、規律正しい生活が出来ていると感じる。例年通り、服装・頭髪の指導、朝と昼の立ち番、授業中の巡回指導も全職員で取り組んでいる。生徒は落ち着き、真面目に高校生活を送っている。	・喫煙は体のこともあるので、しっかりと注意・対応が必要だと思う。 ・あいさつはしっかりとできていると思う。 ・こちらから声をかければ返ってくる程度にとどまっている。校内でのあいさつを地区にまで広げられるとよい。 ・「厳しい指導」というよりも、TP0をわきまえたり社会に出た時に等、自らが考える指導をお願いします。 ・生徒からは学校が楽しいという声が聞かれます。	4.3	喫煙予防指導については、小中より継続して害についての指導はされてきているので、高校でも継続して指導していきたい。喫煙した者については二度と手を出さないように意味を理解させるよう指導したい。 基本的生活習慣の確立について、どうしてそういうことをしなければならないか、考えさせたい。また、自ら進んで挨拶ができるよう声掛けを職員全体で進めていきたい。頭髪・服装については社会に出たときTP0をわきまえられるよう意味がわかるよう指導していきたい。
	個に即した丁寧な生徒指導	2	問題行動の発生時や、友人トラブルやいじめなどの訴えに対し、全職員が情報共有をし、迅速かつ個々の事案に応じた的確な対応を行えた。SNS等の問題行動にも、個々に事の善し悪しを伝えながら指導することができた。	・ちゃんと挨拶ができる生徒が多くていいと思う。 ・問題行動が減ってほしいが減らない現状。正しい対処をして欲しい。 ・問題行動に丁寧に対応していただいていると思う。	4.6	問題行動が起こる前に啓発活動等の予防的生徒指導を徹底して行い、事の善悪の良し悪しを考えさせていきたい。
健康安全指導	感染症対策の実行	1	予防対策を徹底するため、保健委員会による校内放送を行い、生徒の意識の継続を図るとともに、その実践に結びつけた。また、行事ごとに計画や内容を検討し、学校全体で環境整備に取り組み、校内連絡網を活用して情報提供に努め、状況に応じた対策を行った。	・感染対策はしっかりとできていると思う。 ・行動面だけでなく、睡眠や栄養等の生活面での指導をお願いします。	5.0	感染症に関する情報収集を積極的にを行い、的確に生徒と保護者に情報提供して予防対策を図る。 感染予防の環境整備にも努める。 日頃の健康管理や健康の保持増進についても啓発する。
	安全教育の充実	2	GAP学習やHACCP学習、農業機械の授業等を通して、危険箇所の改善や危害分析および作業者の労働安全について学び、安全管理や衛生管理について意識を高めることができた。 改訂された労働安全衛生法に則ったリスクアセスメントに関する講習を受け、その実施を徹底した。生徒たちにおいては、理科や農業科目の実験・実習を通して安全意識を高め、学習授業を通して危害分析及び労働安全について学び、安全管理や衛生管理の理解を深めることができた。	・安全教育はどのような道に進んでも大切なことなのでこれからも実施して行ってほしい。 ・危険分析、及び作業者の労働安全について学べたのはよかったと思う。 ・他の学校より機械や重機に触れたり、食品を扱う機会が格段に多いので重点的な指導をお願いします。「これをしたらどうなるか」「これをしなかったらどうなるか」という想像力を働かせる指導をお願いします。	4.8	今後もGAPやHACCPの学習を継続するとともに、あらゆる場面で安全衛生教育にふれ、リスク管理の重要性和必要性について、生徒自身が理解を深められる指導を行う。
教育支援	生徒相談の充実	1	全職員が生徒情報を共有し、生徒保護者からの相談に丁寧に対応できた。外部専門家を交えたスクリーニング会議、支援会議等を毎月開催し、支援体制の充実に努めた。声掛けや学校生活アンケート（年2回）から困り感のある生徒を見出して、早めの対応を行った。カウンセリングは保護者も含め希望者にスクールカウンセラー事業で行っている。（5名 約30回）	・支援会議は生徒・保護者両名にとって心強いものなのでこれからも続けて欲しい。 ・生徒・保護者からの相談に対応できたのは良かったと思います。 ・担当職員の負担にならないよう全職員で対応お願いします。	4.7	外部専門機関との連携をより深め、アドバイスをいただきながら、生徒の学校生活充実を図る。また、アセス調査の利用や生徒が相談しやすい雰囲気作りを心がけ、普段の対応を丁寧に行う。 必要な生徒には卒業後の進路を見据えて外部機関との支援体制づくりを進める。
	学習支援の充実	2	支援を必要とする生徒に対し、試験問題の漢字ルビ振りを行った。外国にルーツを持つ生徒に対し語学支援員をつける。ICTを活用した授業を工夫するなどの取り組みやすい内容展開を心掛けた。また、各教科ごと丁寧な補習を行い、基礎学力向上に努めることができた。	・支援をすることにより、スムーズに授業できること、安心できることが増えて素晴らしいと思う。 ・基礎学力向上に向けて続けて欲しい。 ・個々の生徒に対し、適切な支援をされていて素晴らしい。農林高校だからこそできる「個々の得意なことや興味を伸ばす指導」をお願いします。	5.0	生徒情報を共有することによって個々の特性を把握し、共通の学習支援と教科毎の支援を丁寧に行うことで、生徒の自己肯定感向上を図る。安心して学習に取り組める環境を整備し、保護者の心配にも寄り添った対応ができるように努める。
	生徒の自主活動の充実	3	地域の景観を守るためのボランティア活動は、農業クラブと協働して多くの生徒を巻き込み行うことができた。また、地区の清掃活動は例年より地域の方と交流を持ち熱心に取り組むことができた。近年、開催規模を縮小してきた農林祭では、校内企画のを充実させ、全校生徒が活躍できる文化祭となった。農林祭を機に生徒同士のコミュニティも広がりを見せ、それぞれの視点やアイデアを共有することで多様性の理解も深めることができた。 農業クラブ県大会意見発表会分類Ⅰ類で優秀賞に輝いたと共に、JA長野県賞を受賞することができた。生徒の自主性と創造性を尊重した活動に繋がった。	・各種大会での好成績は素晴らしい。これからも生徒のモチベーションも上がると思う。 ・農く活動は本校ならではの活動なのでこれからも頑張ってください。 ・生徒の自主性・創造性につながった結果だと思う。 ・地区の清掃活動は、毎年熱心に取り組んでいただき感謝しています。 ・今年の農林祭を見て生徒自らで企画して楽しんでいる様子が伝わってきました。	4.8	学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営していく。
開かれた学校づくり	学習成果の発信	1	コスト削減を目的に農林だよりの発行部数を見直し、ホームページやSNSでの情報発信に努めた。中学校訪問は年2回訪問を継続、本校の魅力をPRした。本年度も各種メディアにおいて本校の取り組みが数多く取り上げられた。	・SNS配信により、子供たちの活動がわかってとてもいいと思う。 ・ホームページを楽しみにしています。 ・農林だより毎回楽しみにしています。 ・中学校訪問やオープンスクールを積極的に実施・開催してほしい。	4.7	本校の特色・魅力を広く伝えられるように、各教科、生徒会、クラス、クラブ等での活動や学びの成果など、より多くの情報をSNSや農林だより、学校訪問を活用して今後も積極的に発信を続けていきたい。
	地域連携と地域貢献の推進	2	従前からの連携・貢献に留まらず、クマ出沒対策としての緩衝帯整備ボランティア等々、新たな取り組みを実践し、年間をとおして充実した地域連携や地域貢献ができた。また、道の駅「ファームス木島平」での農林市も5年目となり、地域に開かれた取り組みを継続することができた。	・農林市のにぎわいから、地域の方々に喜ばれているのがわかるのでこれからも続けて欲しいと思う。 ・農林市は好評です。 ・そば部のそばが人気なので農林祭や農林市以外でも食べれる機会があるとよい。 ・ファームス木島平を最大限利用してください。 ・今後も地域住民が思いつかないような活動を期待している。	4.8	今後も地域と積極的に関わりながら地域の課題を知り、その課題に取り組める体制の構築を目指す。1年生の北信州学において、積極的に地域と関わる中で、地域連携・地域貢献の種を生徒の心に植え付け、2年生のコース授業で知識・技術を養い、3年生での地域連携・地域貢献の実践に繋げたい。